

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和5年8月25日	担当部署	文化観光部 観光振興課
-------	-----------	------	-------------

※以下は令和5年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	株式会社 みなもとの郷		
代表者	代表取締役 内藤 潔		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市吉川区坪野 1458 番地 2		
設立年月日	平成12年2月9日		
資本金	10,000 千円	市出資割合	51.0%
設立目的	吉川区源地域を中心とした中間産地の地域振興を目的に市の所有若しくは管理する不動産及び入浴施設その他の施設の管理運営を行うため。		
主な事業	(1) 吉川スカイトピア遊ランドの管理運営 (2) 吉川地域バス運行事業の運行業務委託 (3) 吉川観光協会の事務受託 (4) 尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の事務受託		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	1	6	7	7	0	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	1	7	8	8	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	5	5	0
その他	18	18	0
計	23	23	0

5 事業実績（概要）

【第24期の経営状況】

- ・ 第24期の売上高は、前期と比較して17,299千円増（46.2%の増）の54,713千円となりました。新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、新潟県の宿泊割引キャンペーン等の活用により、宿泊者数が増えたことに加え、越後田舎体験での受入れが増えたことなどから売上高が増加しました。
- ・ 売上原価は、前期と比較して1,852千円増（26.1%の増）の8,960千円となったほか、販売費及び一般管理費では、人件費や光熱水費が増加したことなどから、前期と比較して10,371千円増（29.1%の増）の45,994千円となりました。
- ・ この結果、最終的な当期純利益は△312千円の赤字となりました。

【主な取組内容】

- ・ 新潟県の県民割キャンペーンを活用し、利用者の獲得に取り組みました。
- ・ 6月と8月にゲートボール大会を開催し、施設の利用促進につなげました。
- ・ 越後田舎体験事業や地元小学校等の体験を受け入れ、新たな利用者の獲得につなげました。

【施設の利用実績】

○ 吉川スカイトピア遊ランド

（単位：人）

		第22期	第23期	第24期
宿 泊		652	859	1,474
休 憩（食堂）		2,314	2,265	2,898
体験交流 センター	入館者 （入浴）	1,585	2,160	2,279
	体験者	27	153	492
小 計		4,578	5,437	7,143

- ・ 第24期の利用者数は7,143人となり、前期と比較して1,706人の増（31.4%の増）となりました。このうち、宿泊の利用者は1,474人となり、前期と比較して615人の増（71.6%の増）となりました。

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		第 22 期	第 23 期	第 24 期
		自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日	自 令和 3 年 4 月 1 日 至 令和 4 年 3 月 31 日	自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	27,998	37,414	54,713
	売上原価	7,750	7,108	8,960
	売上総利益	20,248	30,306	45,752
	販売費及び 一般管理費	31,736	35,623	45,994
	営業利益	△11,488	△5,317	△242
	営業外収益	11,498	6,316	0
	営業外費用	0	0	0
	経常利益	9	999	△242
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	9	999	△242
	法人税等	70	140	70
	当期純利益	△61	859	△312
項 目		令和 3 年 3 月 31 日現在	令和 4 年 3 月 31 日現在	令和 5 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	11,950	13,689	14,450
	負 債	2,514	3,394	4,467
	純資産	9,436	10,295	9,983
	資本金	10,000	10,000	10,000
	利益剰余金	△564	295	△17
その他	0	0	0	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① 吉川スカイトピア遊ランド指定管理委託料	2,517	8,809	11,473	
② 吉川緑地等利用施設指定管理委託料	1,467	1,467	0	
③ 吉川地域バス運行業務委託料	3,479	3,580	3,444	
計	7,463	13,856	14,917	

(2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① 補助金（助成金）	950	710	1,661	
事業者応援給付金	200	0	0	
宿泊事業者応援緊急対策事業補助金	750	0	0	
店舗等改装促進事業補助金	0	199	0	
時短要請協力金	0	511	1,125	
第4次事業者経営支援金	0	0	100	
イノベーション事業補助金	0	0	436	
② 貸付金	0	0	0	
③ 損失補償	0	0	0	
④ 債務保証	0	0	0	
⑤ その他（補填金）	6,037	193	1,054	
エネルギー価格高騰補填金	0	0	807	
新型コロナ臨時補填金	5,859	0	0	
シニアパスポート減免補填金	178	193	247	
計	6,987	903	2,715	

8 市以外からの補助金・助成金等

(1) 受給額（税込）

（単位：千円）

内訳	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
① 感染拡大防止協力金	100	0	0	県
② 持続化給付金	2,000	0	0	中小企業庁
③ 三密対策支援金	200	0	0	県
④ 雇用調整助成金	1,133	2,081	0	労働局
⑤ 緊急雇用安定助成金	1,211	0	0	労働局
⑥ 特別求職者雇用開発助成金	0	700	0	労働局

内訳		令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
⑦	一時支援金	0	600	0	中小企業庁
⑧	月次支援金	0	800	0	中小企業庁
⑨	宿泊事業者感染防止対策支援事業補助金	0	1,425	0	県
⑩	事業復活支援金	0	0	600	中小企業庁
計		4,644	5,606	600	

9 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

<p>【第25期事業計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業努力と経費削減に努めながら地域活性化を図る会社として、これまでと同様に主要事業であるスカイトピア遊ランドの管理運営事業をはじめ、諸事業の持続性を第一義に考えて取組を進める。 ・地域バス運行業務、道の駅よしかわ杜氏の郷直売所の運営等に取り組むほか、スカイトピア遊ランドの運営においては、地域住民の安全・安心にも配慮するなど、引き続き地域の諸課題にも対応しつつ、各種事業等を積極的に展開し、雇用の場の創出と地域の活性化を図りながら地域福祉の向上に貢献する。 ・スカイトピア遊ランドは地域活性化の拠点施設としての位置付けにあることを確信し、当社の経営についても真剣に検討を重ねながら、事業の継続化が図られるように取り組む。 ・日常的に市との協議・連携を深め事業の持続化に努める。

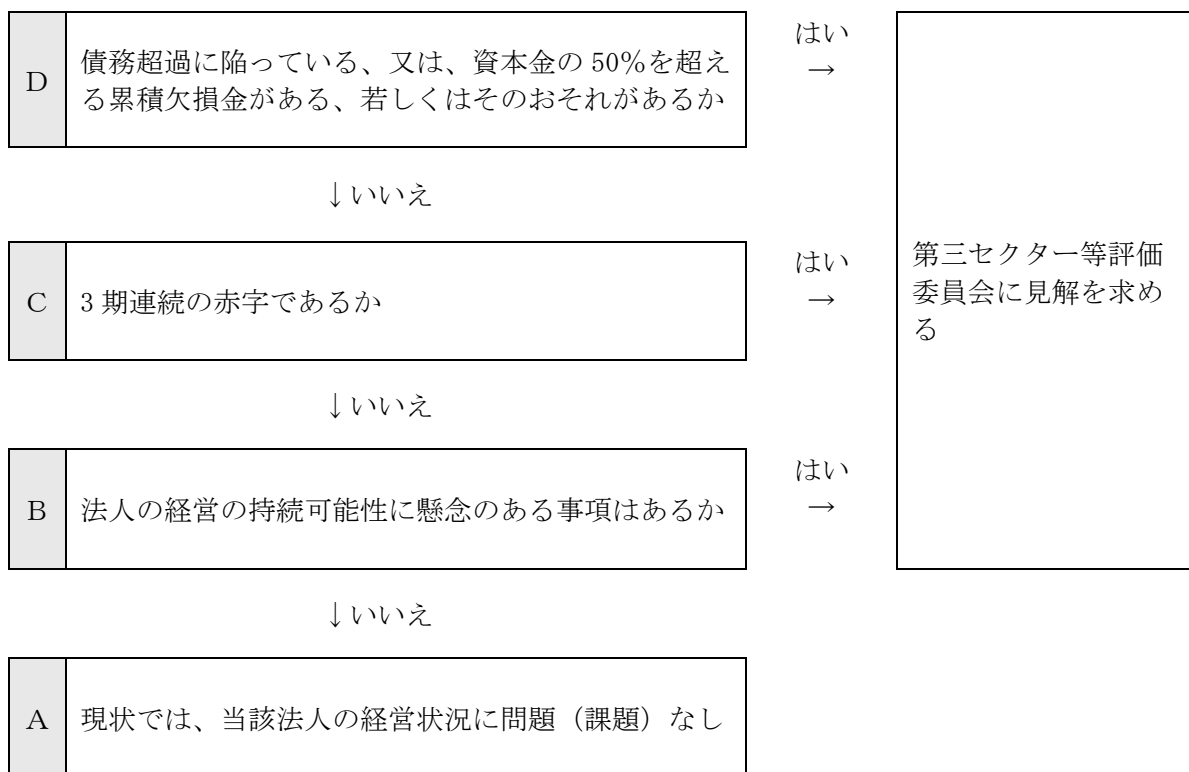
(2) 中長期経営計画

なし

10 令和5年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A	→ BからD評価の法人は(2)へ
<p>【特記事項】 特になし</p>		

報告事項 第24期営業報告について

第24期 営業報告書

株式会社 みなもとの郷

概況等

- (1) 当社は、上越市吉川区尾神岳観光エリアに位置する地域活性化拠点施設である中核的な吉川スカイトピア遊ランドの管理運営を主体として、吉川地域バスの運行業務やよしかわ道の駅における直売所の経営、尾神岳スカイスポーツエリアの管理運営、加えて吉川観光協会の事務局などを担い、地域の諸課題に向き合い積極的に各種事業等を展開しながら、雇用の場の創出と地域の活性化に寄与することを重点目標とした経営に努めてきています。

特に、山間地で積雪が多いという厳しい立地条件や交通アクセスにも恵まれないため、地域の過疎化と人口の高齢化が急速に進んでいます。こうした中、役職員が一丸となって営業努力と経費削減等に取り組み安定経営を目指して頑張ってきています。

- (2) 新型コロナウイルス感染症問題が余りにも長く続き、年度末に近づきようやく収束の兆しが見え始めました。

この問題は、宿泊、飲食サービスを直撃し、今でも多くの関連業界が経営苦境に立たされていることはご案内のとおりであります。

また、ロシアとウクライナの戦争が長期化し、社会不安や経済不安も一層高まり今後どうなっていくかは注視して行くしか手はありません。

当社にとっても、都会方面からの宿泊客の減少や田舎体験事業の縮小、食事・宴会客の減少等々により経営を圧迫されていました。

こうした中、国や県、市の支援策等を積極的に活用しながら、諦めずに誘客に努め経営の存続を第一義として当期の決算を見たところであります。

- (3) 取締役会の開催につきましては、課題等が生じた場合にのみ必要に応じて開催することとし、当期は、昨年株主総会以降6月29日、12月27日と本年6月16日の3回開催いたしました。

- (4) ① 今期（令和4年度）の営業収益（売上高）は、54,712千円であり、前期営業収益（売上高）との比較では17,299千円の増（約46.2%の増）となりました。

これは、コロナ禍の対策として新潟県の宿泊割引キャンペーンなどにより利用客が若干増えたことに加え、制度的な給付金や補助金を利用したことによるものとなっています。

- ② 営業費用は、社会の動勢等を鑑み、働き方改革の一環として人件費の向上に配慮しつつ、お客様にはサービスの低下とならないように水道光熱費等の抑制に努めました。結果として 54,955 千円となり、営業収益（売上高）を若干上回る数値となり営業損失は 242 千円、税引後の当期純損失額が 312 千円となってしまいました。

**第 1 号議案 第 24 期貸借対照表、損益計算書の承認
について**

(別紙決算報告書による)

決 算 報 告 書

(第 24 期)

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

株式会社みなもの郷

新潟県上越市吉川区坪野1458
番地2

電話：025 - 547 - 2221

貸借対照表

令和 5年 3月31日 現在

株式会社みなもの郷

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	8,635,130	【流動負債】	4,466,949
現金及び預金	4,374,534	買掛金	422,708
売掛金	719,340	未払費用	2,721,341
商品	2,378,656	未払法人税等	70,000
未収入金	1,127,100	未払消費税等	851,800
仮払金	35,500	預り金	401,100
【固定資産】	5,603,080	負債の部合計	4,466,949
【有形固定資産】	5,602,080	純 資 産 の 部	
建物	2,015,898	【株主資本】	9,982,675
建物附属設備	957,585	資本金	10,000,000
構築物	78,768	利益剰余金	-17,325
機械装置	44,728	その他利益剰余金	-17,325
車両運搬具	1	繰越利益剰余金	-17,325
工具器具備品	2,505,110		
【投資その他の資産】	1,000	純資産の部合計	9,982,675
出資金	1,000		
【繰延資産】	211,414	負債及び純資産合計	14,449,624
開業費	211,414		
資産の部合計	14,449,624		

損 益 計 算 書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月 31日

株式会社みなもとの郷

(単位： 円)

科 目	金 額	
【売上高】		
売 上 高	54,712,588	
売 上 高 合 計		54,712,588
【売上原価】		
期 首 商 品 棚 卸 高	1,026,553	
当 期 商 品 仕 入 高	10,312,340	
合 計	11,338,893	
期 末 商 品 棚 卸 高	2,378,656	
売 上 原 価		8,960,237
売 上 総 利 益 金 額		45,752,351
【販売費及び一般管理費】		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		45,994,351
営 業 損 失 金 額		242,000
【営業外収益】		
受 取 利 息	38	
営 業 外 収 益 合 計		38
経 常 損 失 金 額		241,962
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		241,962
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		70,000
当 期 純 損 失 金 額		311,962

販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

株式会社みなもとの郷

(単位： 円)

科 目	金 額
給 料 手 当	29,422,888
雑 給	17,600
賞 与	725,000
法 定 福 利 生 費	1,693,431
福 厚 注 費	397,220
外 注 費	1,345,030
広 告 宣 伝 費	174,286
接 待 交 際 費	30,000
通 信 費	484,474
消 耗 品 費	1,292,895
修 繕 費	833,265
水 道 光 熱 費	5,407,079
諸 会 費	174,740
支 払 手 数 料	455,503
車 両 借 賃 料	487,519
賃 借 借 賃 料	970,445
保 険 料	162,800
租 税 公 課	1,430,503
減 価 償 却 費	249,722
雑 費	239,951
販売費及び一般管理費合計	45,994,351

株主資本等変動計算書

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

株式会社みなもとの第

(単位： 円)

【株主資本】

資 本 金	当期首残高		10,000,000
	当期末残高		10,000,000
利 益 剰 余 金			
その 他 利 益 剰 余 金			
繰 越 利 益 剰 余 金	当期首残高		294,637
	当期変動額	当期純利益金額	-311,962
	当期末残高		-17,325
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高		294,637
	当期変動額		-311,962
	当期末残高		-17,325
株 主 資 本 合 計	当期首残高		10,294,637
	当期変動額		-311,962
	当期末残高		9,982,675
純 資 産 の 部 合 計	当期首残高		10,294,637
	当期変動額		-311,962
	当期末残高		9,982,675

個 別 注 記 表

株式会社みなもとの第

自 令和 4年 4月 1日
至 令和 5年 3月31日

- 1 重要な会計方針に係る事項に関する注記
 - 資産の評価基準及び評価方法
 - たな卸資産の評価基準及び評価方法
 - 最終仕入原価法を採用しております。
 - 固定資産の減価償却の方法
 - 定額法又は旧定額法及び定率法又は旧定率法を採用しております。
 - 会計処理の原則又は手続きの変更
 - 消費税の会計処理は税込方式を採用しております。

- 2 貸借対照表に関する注記
 - 有形固定資産の減価償却累計額 10,006,294円

監査報告書

第24期決算監査の結果、貸借対照表、損益計算書および利益処分について、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和5年6月13日

株式会社みなもとの郷

監査役 中 村 久 人



第25期 事業計画並びに収支計画について

株式会社 みなもとの郷

1. 当社の経営は、施設が山間地に存するという立地条件に加え行き止まりという交通条件の不便さ、加えて積雪が多く、過疎化・人口の高齢化が急速に進む地域の中で、役職員の相互協力による営業努力と経費削減に努めながら、地域の皆さんの協力をいただきながら地域活性化の中核会社と位置付け、これまでと同様にスカイトピア遊ランドの管理運営業務を主体として諸事業等の持続性を第一義に考えて進めて参ります。
2. 地域バスの運行業務、よしかわ道の駅におけるソバ直売店の運営、吉川観光協会の業務、尾神岳スカイスポーツエリアの運営等々に加え、遊ランドが市の指定緊急避難場所とされていること等を鑑み、地域住民の安全・安心にも配慮するなど引き続き地域の諸課題にも対応しつつ、これまでの事業を参考に各種事業等を積極的に展開し、雇用の場の創出と地域の活性化に配慮しながら、地域福祉の向上に貢献して参ります。
また、令和3年度をもって市の指定管理施設で無くなった吉川緑地等利用施設の内、スーパースライダーと見はらし荘については、尾神岳観光エリアの中であり、まだ利用可能な施設であるとして、市と協議の結果当社が必要に応じて管理運営をすることとしています。夏休み期間や土・日曜日等の天候の良い日には尾神岳の賑いのためにも引き続き利活用を図っていきたいと考えています。
3. コロナ禍が収束していく中「新しい生活様式等」がどう求められ、どう変わっていくかなどはまだまだ予想がつかない現状にあります。また、ロシアとウクライナの戦争がどうなるかも不明で世界的に不安視だけが伝えられています。
こうした中ではありますが、中心施設のスカイトピア遊ランドは地域活性化の拠点施設としての位置付けにあることを確信し、当社の経営についても真剣に検討を重ねながら事業の継続化が図られるよう取り組んで参ります。
個別の事業等については、事前に計画を立てるのが困難であり記載を割愛させていただきます。
4. 収支計画については、前期の実績等をベースとして計画いたしました。いづれにしても、地道にリピーターが戻ってくれることを願いながら、日常的に市との協議・連携を深め事業の持続化に努めて参ります。

第25期 収支計画

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

単位:千円

(収入の部)

科目	本年度計画額	前年度計画額	増減	備考
利用料金	38,600	33,000	5,600	入浴(日帰り)、宿泊、体験交流、食堂、スライダー等の利用料金
受託料	11,896	14,187	-2,291	指定管理者等受託料(遊ランド、地域バス)
雑収入	7,504	5,613	1,891	売店、自主事業等収入
合計	58,000	52,800	5,200	

(支出の部)

科目	本年度計画額	前年度計画額	増減	備考
給料賃金	32,000	29,600	2,400	遊ランド、地域バス等
法定福利費	1,862	1,200	662	社会保険料、労働保険料
福利厚生費	198	180	18	通勤手当、職員研修費
租税公課	1,200	950	250	法人税・住民税・消費税
諸会費	170	84	86	商工会費、食品衛生協会費等
仕入	8,830	8,000	830	
水道光熱費	5,800	5,200	600	水道、電気、ガス代
旅費交通費	30	20	10	
通信費	500	540	-40	電話代、切手代等
広告宣伝費	150	100	50	広告掲載料、HP管理費等
接待交際費	50	56	-6	
損害保険料	200	220	-20	食中毒保険等
修繕費	550	480	70	施設・設備修繕料
消耗品費	1,400	1,300	100	事務消耗品等
減価償却費	400	650	-250	
車両掛費	1,100	1,100	0	車燃料代等
支払手数料	750	700	50	記帳指導料等
環境衛生費	750	700	50	ゴミ収集等
設備保守料	1,500	1,400	100	浄化槽、消防設備等
賃借料	300	90	210	車両、設備リース
雑費	160	150	10	テレビ受信料他
予備費	100	80	20	
合計	58,000	52,800	5,200	